

# リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱			
工期	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	小瀬 裕之			
作業名称	距離標、デリネーター取替工	作業手順書	作成年月日	令和2年12月2日			
使用機械 使用設備	資材運搬車両(連絡車orトラック) 1台		改正年月日	令和5年4月6日			
使用工具、機器	インパクトドライバー、ラatchet、脚立		現場責任者				
			協力会社	会社名			
保護具	ヘルメット、安全靴、脚絆、手袋、視認性の良い作業着		協力会社責任者	自筆サイン			
材料	距離標、Uバンド		作業順序				
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証				1	準備作業	
	特別教育:職長 振動工具				2	規制設置	
	技能講習:				3	距離標、デリネーターの取替	
作業人員	作業責任者 1名 : 運転者(作業員) 1名 : 作業員 1名				4	清掃・片付け	
	合計 3名				5	規制撤去	
作業手順	作業責任者(職長)	周知会実施日			令和2年12月2日	6	後片付け
周知会 参加者 サイン (記録)	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする)				7	-	
			8	-			

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能 性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○○	○△	○×	○○	1:極めて小さい 関係者に対する周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△○	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい 関係者に対する指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×○	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度 職長が確認
					△×、×△	4:かなり大きい 工事担当責任者が確認
					××	5:極めて大きい 十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
準備作業(全員)	ミーティング	健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							
規制設置(全員)	規制材の設置 (移動・路肩・走行・追越・便乗)	現場にあった規制をそれぞれの手順書に基づき設置を行う。							
距離標、デリネーターの取替(作業員)	施工箇所までの足場確保	脚立を使用し、昇降する。	脚立を使用している時に、バランス崩し転倒する。	○	△	○△	2		脚立を使用する時は、もう一人の作業員がしっかりと支える。
	距離標又はデリネーターを取り替える	距離標又はデリネーターを工具を使用して固定する。	工具を使用しボルトを外しているときに、ボルトが転がり通行車両にあたる。	△	×	△×	4		ボルトを取り扱うときはなるべく低い位置にて行い、転がらないよう袋など入れる。
清掃・片付け(作業員)	現場の清掃	道具や資材の置き忘れがないか確認する。							
規制撤去(全員)	規制材の撤去 (移動・路肩・走行・追越・便乗)	現場にあった規制をそれぞれの手順書に基づき撤去を行う。							
片付け(全員)	車両の清掃、洗車	車両からオイル漏れや、タイヤに異物が刺さっていないか確認する。							工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事